

Peace Now! OKINAWA 2015 開催報告

開催概要

参加者数

111名 (43 大学生協 8 ブロック)

※実行委員、運営事務含む

参加大学一覧

- 北海道 BK：札幌学院大学/北海道大学/北海道教育大学/北海道ブロック
- 東北 BK：岩手大学/弘前大学/盛岡大学/山形大学/東北ブロック
- 東京 BK：跡見学園女子大学/神奈川大学/埼玉大学/白梅学園大学/津田塾大学/東京学芸大学/東京高専/東京農工大学/東邦大学/明治学院大学/早稲田大学/東京ブロック
- 東海 BK：静岡大学/名古屋大学
- 北陸 BK：北陸ブロック
- 京滋奈良 BK：京都教育大学/京都大学/京都橘学園大学/立命館大学/龍谷大学/滋賀県立大学/京滋奈良ブロック
- 大兵和 BK：大阪大学/関西学院大学/近畿大学/兵庫県立大学/大兵和ブロック
- 中四 BK：岡山大学/四国学院大学/島根大学/広島大学/山口大学/中四ブロック
- 九州 BK：北九州市立大学/九州国際大学/九州大学/熊本大学/長崎大学/琉球大学/九州ブロック
- 連合会：学生委員会

日程：2015年9月1日(火)～9月4日(金)

開催場所：沖縄県那覇市、沖縄国際ユースホテル および 県内各所

Peace Now! 2015 3 地域共通テーマと獲得目標

終戦から 70 年、今こそ平和について考える。

獲得目標

- ① 70 年前の出来事と今を知り、平和について考える。
- ② 様々な人と話し合い、平和への想いを深める。
- ③ 自分に何ができるか考え、行動できるようになる。



「美ら島でさがす虹 最後の世代が踏み出す一歩」

「虹」

- ・ 沖縄戦当時の雨（悲しみ、涙、艦砲射撃）や沖縄戦後の曇りきった空（基地を中心とした問題）の後に見える平和な世の中。
- ・ 感じたこと、思ったことは色々あるけど、それらすべてが未来の平和のために一つにまとまるように。
- ・ 過去、現在から未来へつなげる架け橋。

「最後の世代」

- ・ 戦争体験者から生の証言が聞ける最後の世代のこと。私たち一人一人のこと。

大まかな内容

1. 沖縄戦体験者の証言
2. 沖縄戦と戦後復興知る学習会
3. 沖縄戦と戦後復興を知るフィールドワーク
4. 沖縄と基地、世界の問題を知る学習会
5. 沖縄と基地、世界の問題を知るフィールドワーク
6. NPT 再検討会議 代表派遣報告（3 地域共通企画）
7. これからの考える



詳しい内容や参加者の様子

1 日目(9/1)

テーマ 「はじまりの空」

◆ 開会式

初めて顔を合わせるグループのみんなと自己紹介をしました。FW の導入として、沖縄を知るクイズも行いました。

◆ 首里フィールドワーク（沖縄師範学校碑・トーチカ・説明版・西のアザナ）

参加者は観光地として有名な沖縄の違った 1 面を知ることができ、4 日間学んでいくという意識と、モチベーションが生まれました。

◆ 沖縄戦体験者の証言

中山キクさん、大嶺初子さんから、沖縄戦当時の様子や今の思いなどを語っていただきました。

◆ 学習会

2 日目に実際にフィールドワークに行く前に沖縄戦などについて学習会を行いました



● 参加者の感想

フィールドワークについて

- 首里城や沖縄の美しい景色について目を向けてしまいますが、その過去にあったこと皆が目を向けないトーチカという存在について知り、自分は今まで平和な世界しか見えていなかったのだと感じました。表面的な浅い知識だけでなく、深い真実の知識を身につけたいと思います。

証言を聞いて

- 教育・情報統制が人の考え方に大きな影響を与えていた。今の時代に生きているから戦争=悪のように考えられるが、当時に生きていたら「戦争に行く父がかっこいい」という感覚になっていると思うと恐ろしかった。

体験している人がいなくなってしまうとともに痛み・悲しみや様々な情報が薄くなってしまいうので、私たちがバトンをつなげていく必要があると思った。

2日目(9/2)

テーマ 「70年前の雨」

- ◆ フィールドワーク（前田高地・アブチラガマ・健児の塔・魂魄の塔・平和の礎）

「もし自分だったら…」をキーワードに沖縄戦と戦後復興を学ぶフィールドワークを行いました。

- ◆ 学習会

3日目のフィールドワークの前に沖縄の基地問題や世界情勢などについて学習しました。



● 参加者の感想

- ◆ 炎天下の中のフィールドワークであり、とても体力を使いましたが、当時の人々が私たちと比べものにならない過酷な生活状況で、荒れた地の中を生活していたのかと思うと、おの天気で良かったのではないかと思います。
- ◆ アブチラガマの中で問いかけられた「自分だったら…」暗い空間に多くの人々、血のにおい、うめき声、同じ場所ではあっても、全く違ったであろう空間への想像力をはたらかせる中で、より実感をもって沖縄戦を感じることができたのではないかと思います。

3 日目(9/3)

テーマ 「まだ見えぬ空」

◆ フィールドワーク（嘉数高台・沖縄国際大学・宮森小学校・コザ・嘉手納基地）

沖縄の米軍基地がもたらすものについて様々な角度から学び考えるためのフィールドワークを行いました。

➤ NPT 代表派遣報告

3 地域共通企画として、NPT 再検討会議の学習会と長崎大学の村上さんから NPT 代表派遣報告を行いました。



● 参加者の感想

フィールドワークについて

- 今日のフィールドワークでは沖縄県にある米軍基地関連の場所をめぐることができて、沖縄の基地に反対する人々側からでしか今まで考えることのなかった、みてくることのなかった、米軍側、米軍を対象とした商売をしている人々側、基地があることによって生計が成り立っている人間のそれぞれの基地に対する想いに関して学び考えることができました。最後にいった嘉数高台からは実際住宅街の中に基地があるのを目の当たりにして近さゆえに問題は生じるな、と改めて思い、様々な事故現場の悲惨さにも驚かされました。

NPT について

- NPT ってそもそも何かすら分からなかったのですが、村上さんの発表を聞いて、内容、開催する意味、会議自体の雰囲気などを知ることができて、意外と私たちにも身近なことで、核を持っていない日本に住んでいる私たちにも、NPT について考えることの重要性を感じました。

4日目(9/4)

テーマ「虹をさがしに」

◆ 感想交流

4日間の総まとめとして、班で感想交流をしました。

◆ 虹を考えるグループワーク

それぞれのグループごとに考えたやり方で、4日間で学んだ思いを形にしていきました。

◆ 全体発表

各グループから自分たちで考えたものを全体に発表しました。

◆ 閉会式

それぞれの思いを持って、自分の住んでいる場所へと参加者は戻ります。



● **参加者の感想**

- ▶ みんなが同じものを見て抱く感想でも、視点が様々でした。視点がちがう中でも共通点もあつたりして、自分の意見をもう一度見つめなおして深めていくことができました。
- ▶ 平和って何なのかって考えだすと、明確な答えは中々出せないけど、何が大切か、何をしていたか、きやならないか、ってことは共通したものがあつたりして、それもこの4日間の中で班で意見を交わす中で導き出せたものなんだろうなと思いました。いっぱい話をする事で、自分一人ではたどりつけない発見もできるし、何より真剣に話し合うのって、議題は何にしる楽しいので、もっといろんな人にその楽しさを感じてほしいな一って思います。